

# 防錆材入りポリマーセメントモルタル RFモルタル

RFモルタルは、RFモルタルパウダーとRF混和材を組合せて得られる防錆材入りポリマーセメントモルタルです。  
剥離・欠損部の断面修復に使用します。



▶ RFモルタルパウダー 荷姿20kg袋



▶ RF混和材 荷姿18kg缶

## 特長

- コンクリート補修に必要な物性(弾性係数、熱膨張係数等)を有しています。
- ポリマーの配合によって、接着耐久性、防水性に優れています。

## 材料の組成、一般的性質および基本配合

- RFモルタルパウダー  
普通ポルトランドセメント、骨材、特殊混和材  
荷姿:20kg/袋
- RF混和材  
防錆材入りSBR系ポリマーディパーション
- 基本配合  
RFモルタル20kg/袋に対して、  
RF混和材3.6±0.6kg  
荷姿:18kg/缶

### ▶ RF混和材 一般的性能

項目	性能
粘度(25℃)	20mPa・s以下
比重	1.0±0.05
pH	8.5±1.0
固形分	24.0±1.0%
外観	乳白色液体

## RFモルタルの性能

▶ RFモルタルの物性試験結果①(JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準じて行った。)

試験項目	試験結果	備考
1.単位容積質量	2.14kg/ℓ	—
2.圧縮強さ	36.6N/mm <sup>2</sup>	材齢28日
3.曲げ強さ	9.2N/mm <sup>2</sup>	材齢28日
4.接着強さ	2.2N/mm <sup>2</sup>	材齢28日
5.接着耐久性	2.3N/mm <sup>2</sup>	温冷繰返しによる
6.吸水量	3.7g	吸収量のみ測定
7.透水量	7.0g	φ15×4cm
8.長さ変化	0.075%	乾燥期間28日
9.凍結融解	200サイクルで異常なし	—

**RFモルタルの性能**

▶RFモルタルの物性試験結果②  
(JCI「ポリマーセメントモルタルの試験方法基準案」※に準じて行った。)

試験項目	試験結果	普通モルタル(セメント:砂=1:3)
1.接着強さ(引張り接着強さ)	2.75N/mm <sup>2</sup>	0.59N/mm <sup>2</sup>
2.接着強さ(せん断接着強さ)	8.04N/mm <sup>2</sup>	1.47N/mm <sup>2</sup>
3.接着強さ(曲げ接着強さ)	8.04N/mm <sup>2</sup>	3.14N/mm <sup>2</sup>
4.促進中性化深さ	4mm	25mm
5.塩化物イオン浸透深さ	7.4mm	18.9mm
6.弾性係数	1.98×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup>	2.06×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup>
7.熱膨張係数	0.70×10 <sup>-5</sup> /℃	0.65~0.95×10 <sup>-5</sup> /℃

注)※:日本コンクリート工学協会(JCI)ポリマーセメントモルタル試験方法小委員会

▶RFモルタル塩化物イオン透過性試験結果

RF防錆ペースト(2mm)	1:3モルタル
0.016mg/cm <sup>2</sup> ·day	0.143 mg/cm <sup>2</sup> ·day

**施工方法**

- ①欠損部の埋め戻しは、RF防錆ペースト塗布後、追いかけて、コテを使用し強く押し付けて埋め戻して下さい。
- ②RFモルタルの1回の塗り厚さは、2~6mmとし、6mm以上の場合は数回に分け、下地が硬化後(1日以上)に塗り重ねて下さい。
- ③練置き可能な時間は、40分を目安としますが、夏期や特に気温が高い時期はそれより短くなります。また、練り足しは行わないで下さい。

**使用上の留意事項**

- RFモルタルは、RFモルタルパウダーとRF混和材とを組合せて得られるポリマーセメントペーストです。他の材料は、絶対に混和しないで下さい。
- RFモルタルの軟度調整は、必ずRF混和材を用いて行って下さい。
- 施工に当っては、素地面のレイタンス、油分、ゴミ等は取除き十分に清掃して下さい。
- RFモルタルでコテ仕上げを行った際に、スキニング※を起こした場合はコテ押えを行わないで下さい。コテ押え行くと、ひび割れ、剥離等を引き起こす恐れがあります。※スキニング:表面にポリマーの薄皮ができる現象
- 軒先、庇、上裏等で欠損が大きく、落下の危険性がある場合は、アンカー、メッシュ取付け等の落下防止対策を行ってください。
- 直射日光、風当りの激しい場所、夏期の施工では、急激な乾燥を防止するため、養生シート、ポリエチレンフィルム等で保護して下さい。
- 施工時に外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、仮囲い、帆布シート、ビニルシートなどのおおの他、ヒーター等で保温して下さい。
- 降雨、強風あるいは周辺の他の作業により、塗布作業に支障をおこす恐れがある場合は、施工を見合わせ下さい。
- 施工中は周辺の他の部材および仕上げ面等を汚損しないよう、シート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行ってください。
- 施工および施工後早期に、強風や日射等により、急激に乾燥する恐れのある場合は、シート類ポリエチレンフィルム等で養生を行ってください。
- 施工および施工後早期に、降雨、降雪の影響を受ける恐れのある場合は、シート類ポリエチレンフィルム等で養生を行ってください。
- RF混和材は酸性物質と接触すると、分解してNOxガスを発生しますので、絶対に酸性物質と接触させないで下さい。
- 詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

**記載内容についての注意事項**

- このカタログの記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくものであり、現場の条件等により異なる場合があります。
- ご使用に際しては、使用目的に適合するかどうかおよび安全性についてご確認下さい。
- このカタログ記載の製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄して下さい。
- ご使用に際しては、使用方法や注意事項等をごこのカタログおよびリフリート工法の施工要領書にてご確認下さい。
- このカタログの記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますのでご了承下さい。

RFモルタルは、リフリート工法の構成材料であり、リフリート工法施工管理士を有するリフリート工業会会員が購入し、施工する材料です。

問い合わせ先 **リフリート工業会** 本部事務局

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24

青海フロンティアビル15F 太平洋マテリアル(株)内

☎03-5564-0623 FAX.03-5564-0624

URL <http://www.refrete.com>

北海道支部 〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル ☎ 011-221-5855

東北支部 〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル ☎ 022-221-4511

東京支部 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル ☎ 03-5500-7530

関東支部 〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-6 ニューセンチュリービル ☎ 048-614-8470

中部支部 〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル ☎ 052-452-7141

関西支部 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル ☎ 06-7668-6001

中国支部 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル ☎ 082-261-7191

四国支部 〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル ☎ 087-833-5758

九州支部 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル ☎ 092-781-5331

販売元 **太平洋マテリアル株式会社**

営業本部 機能性材料営業部 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24青海フロンティアビル 15階 ☎ 03-5500-7512 FAX. 03-5500-7542